

# 未来に伝えたい「まいばらの水」12選

深い山々が育んだ米原の美しい湧き水。このコーナーでは、「未来に伝えたい。まいばらの水」に選ばれた12か所をシリーズでお伝えしてきましたが、7月からは番外編として、地域と水の関わりについてお届けしています。

番外編⑤

vol.17



まいばらの水  
イメージキャラクター  
スイナちゃん

## 水の脅威

水は、私たちの生活になくてはならないものである反面、災害を引き起こす恐ろしいものでもあります。市内の河川も、かつては大雨の度に氾濫する脅威でもありました。

明治以降、日本に最も大きな被害をもたらしたと言われている伊勢湾台風（昭和34年）では、市内でも姉川や天野川などの河川が氾濫し、堤防の決壊、橋の流失、田畑や家屋への浸水などの大きな被害が出ました。こういった過去の災害を契機とし、現在は護岸工事や拡張工事、ダム建設などの河川改修などにより、昔のように頻繁に災害が起こることはなくなりました。



▲ 伊勢湾台風（上：吉槻橋流出、下：長岡浸水）



▲ 七尾橋のたもとにある一本杉（井之口）

しかし、未曾有の災害となった東日本大震災で経験したように、人間の力が到底およばないのが自然の力です。かつて「霞堤」と呼ばれるものが、姉川や天野川にもいくつか設けられていました。被害を最小限に抑えるという昔の人の治水の知恵であり、自然の力を科学技術だけで封じ込めるのではなく、昔の人のように折り合いをつけて付き合っていくことも必要かもしれません。また、昔は自然を恐れると同時に敬い、川が氾濫しないようにと祈ったものです。姉川に架かる七尾橋のたもとには、樹齢500年ともいわれる「一本杉」と呼ばれる杉の大きな木があります。伊勢から授かったもので、この木を植えてからは水害がなくなると伝えられ、今も大切にされています。



▲ 世継の霞堤（上空より）

### お詫びと訂正

10月15日号の「未来に伝えたい「まいばらの水」12選 Vol.16 ～番外編④～」の掲載内容に誤りがありました。お詫びし、訂正いたします。

『市内にあった酒造名とその銘柄』の一覧表

14段目	【誤】明保能	⇒	【正】明保能
17段目	【誤】新玉	⇒	【正】あら玉

お問い合わせ 経済環境部 環境保全課（伊吹庁舎） ☎58-2230 ㊟58-1630